

全力へ復興・救援

被災地の子ども・住民のために、府下から支援と激励を

3月11日に発生した東日本大震災によって、1万2千人を超える人々が命を失い、1万5千人を超える人が今も行方不明、避難者は16万人に達しています。全教・大教組は、被災地の子ども・住民の救援・復興のために、救援募金や救援物資送付などに全力で取り組んでいます。また、3月17日大阪府教育委員会に対し、ボランティア休暇の復活などの実現を求め緊急要請を行いました。

東日本大震災直後から、被災地の子ども・住民の救援募金に力を入れて、短時間で5万円から10万円を集めました。交野市教職員組合は、市教委に学校耐震化事業の早期実施などを求める緊急要請書を出し、その実現を迫りました。

福祉・防災のまち大阪を

東日本大震災後、橋下知事は、東南海・南海地震は「予言」として、被災地を救済するだけでなく、震災が起きた時の危険性ばかり、学校の耐震化を早期実施、危険な橋梁や河川の護岸改修、住宅の耐震化など、子どもや府民のいのちを守り、安全なまちをつくること、と誓っています。福祉・防災のまち大阪を、今こそ求められています。

3月11日に発生したマグニチュード9.0の東日本大震災と大津波によって、多数の死者、家屋の崩壊、流出した大量の放射性物質など、甚大な被害が起きました。また、東京電力福島第一原子力発電所事故は、放射性物質の外部放出という史上最大の事態となっています。行方不明の教職員や子どもの発生、学校の給食センターの損壊、臨時休業や高校入試の延期など、被災地の子どもや教職員をめぐる状況も大きな困難を抱えています。

全教は、震災直後から現地と連絡をとり、被災状況の確認を開始し、3月14日に東日本大震災対策本部を立ち上げ、救援募金と支援物資搬送などを行います。同時に、文部科学省や公立学校共済組合に緊急要請を行いました。大教組も、全教の提議を受け、救援募金と支援物資送付、救援ボランティア登録を行い、各支部・支部、職場でも積極的に取り組んでいます。

3月17日大教組は、大阪府教育委員会に対し、①教職員や府職員に協力を呼びかけ、救援活動を算定期間で4割も削減しています。府立学校の耐震補強工事は、2015年度末までと終了しないこと、小中学校の校舎や体育館のうち、震度6以上の地震で倒壊する危険性が高い建物、全国の中でも大阪が最多で545棟もあること、2010年4月1日時点、文部科学省調査をみると、福祉・防災のまちづくりが、今こそ求められています。

東日本震災および学校の安全対策に関する緊急要請 (3月17日 大教組)

- 教育委員会として、教職員・府職員に協力を呼びかけて、行政の知恵と力を結集し、救援・支援活動を行うこと。また具体的な支援内容等については、トップダウンでなく現場教職員の意見もよく聴いて対応すること。
- 大阪府が2009年度末に廃止したボランティア休暇を復活、拡充するよう関係機関に働きかけること。また、教職員が被災地支援ボランティアを行う場合、職免・出張扱いとする。
- 大幅に遅れている府内学校の耐震化に向け、以下の緊急対応を行うこと。
 - 府立学校の耐震化のための予算を大幅に増額し、耐震化工事を急ぐこと。
 - 各市町村の耐震化工事の進捗状況を教育委員会として把握し、耐震化工事を完了するように各市町村教委への指導・助言を強めること。
 - 3カ年の時限措置となっている「地震防災対策特別措置法改正法」の期間延長を、国に対し働きかけること。
 - 府立学校の危険箇所除去・改善のため、地震・津波等の災害に対する子どもと安全確保のための対応策を改善・充実すること。また同様のとりくみを市町村教育委員会に指導・助言すること。

新歓パンフが好評！

あなたも大教組(青年部)の仲間になろう

仲間と先輩の支えが 確かな力

大教組青年部長 松本 洋介さん

4月から新しく大阪の教職員となられたみなさん、採用おめでとうございませう。大教組青年部長の松本洋介です。私が初めて教員になった時のことを思い出します。なぜあの時々な困難を乗り越えられたのだろうか？と考えてみると、それこそ先輩の支えが、仲間と先輩の支えが、確かな力だったと思います。大教組青年部は、この出会いと学びを大切に、「青年フエスタ」を毎年開催。また、青年教職員の悩みや願いを集め、子どもたちの教育をよりよいものにするために、「青年部府教委交渉」を行っています。子どもたちの笑顔は、僕ら教師の元気の源。でも、僕らが笑顔の源でないと、子どもたちの顔も曇ってしまいます。子どもたちが本心に笑顔をみせる大阪の教育をつくるため、大教組(青年部)の仲間になりませんか。

福島原発 危機を問う①

「福島原発事故から学ぶ」――崩壊した「安全神話」

元京都講師・香川大学教育学部教授 現非核の政府を求める大阪の会世話人代表 中川 益夫さん

未曾有の大震災・津波被害とともに、福島原発事故が大変深刻な事態となつています。あらゆる専門的機関の知恵と力を結集して危機打開と、「安全神話」崩壊防止・施策の抜本的見直しを求められています。原発・原子炉問題の専門家、非核の政府をめざす活動でも活躍されている中川益夫さんに記事(4〜5頁予定)を投稿していただきました。

商用である。京大は研究用で原子炉運転の際発生する中性子を利用する基礎研究が主目的である。②立地 原発は大量の冷却水が必要で、日本では海水を冷却するため海岸に立地する必要がある。研究炉は真水冷却で、普通大のプールの水を吸入排出して循環させる程度で充分。③規模 原発は電気出力100万kW、熱出力は約300万kW。京大は熱出力0.5万kWで、原発の約600分の1。放出熱は環境に放出されるが、環境影響には大差がある。④構造 原発は東日本では主としてBWR(沸騰水型)で70気圧程度の圧力をかけ、300度近くまで沸騰させる。西日本では主としてPWR(加圧水型)で150気圧、320度程度まで水を沸騰させない。熱効率を上げるためである。他方、京大は、大気圧で運転中の水も50度程度。⑤運転パターン 営業運転は電力供給のため普通一年以上の連続運転が求められる。他方、研究炉は通常一週単位の運転・停止のサイクルで行われる。隣の原子燃料工業



津波で変わり果てた町。ランドセルなど生活がつかわれていたものも...。13日、宮城県三陸町(赤旗新聞提供)



平洋沿岸でマグニチュード9.0の巨大地震が発生。津波と原発事故を誘発し戦後最大の被害を派生した。福島原発の事態はまた途中で薬を許さないうえ、事故の経過をたどる前に、大飯取の京大原子炉はどうかとの風評にまず答える。①目的 原発は発電営業運転で商用である。京大は研究用で原子炉運転の際発生する中性子を利用する基礎研究が主目的である。②立地 原発は大量の冷却水が必要で、日本では海水を冷却するため海岸に立地する必要がある。研究炉は真水冷却で、普通大のプールの水を吸入排出して循環させる程度で充分。③規模 原発は電気出力100万kW、熱出力は約300万kW。京大は熱出力0.5万kWで、原発の約600分の1。放出熱は環境に放出されるが、環境影響には大差がある。④構造 原発は東日本では主としてBWR(沸騰水型)で70気圧程度の圧力をかけ、300度近くまで沸騰させる。西日本では主としてPWR(加圧水型)で150気圧、320度程度まで水を沸騰させない。熱効率を上げるためである。他方、京大は、大気圧で運転中の水も50度程度。⑤運転パターン 営業運転は電力供給のため普通一年以上の連続運転が求められる。他方、研究炉は通常一週単位の運転・停止のサイクルで行われる。隣の原子燃料工業

学校耐震化100%実現

高石市

今回の東日本大震災でも、学校は地域の避難 防災施設としての重要な役割を担っています。以前、校舎耐震化率73.3%の2008年科省発表の全国最低レベルの高石市。子ども・市民の安全、住民の防災センターとしての役割を担う学校施設の充実と、2年間で100%の学校耐震化を実現させた泉北教組の取り組みをご紹介します。

市民宣伝と共同を重視

泉北教組は、08年9月高石中学校耐震化の取り組みの基本方針を、①早期に耐震化率100%を達成する具体的な計画を高石市が持つこと、②学期12月議会までを集中的な運動のとりくみとする、③他団体にもむけて学校耐震化をすすめる共同運動体制を築くこと、④市民向けに様々な市民世論形成運動の主要なとりくみとする、⑤9月からの10月までの4カ月間に5回の新聞折り込みを1発行を行いました。

成3カ年計画試算を、表、一般予算の0.6%の負担で、3年で100%を達成できる」という主張は断片を持って市民に受け入れられました。

地域の防災拠点としての役割、④省エネ・エコに配慮した耐震化の申し入れを行い、耐震化100%早期達成に向けた計画と具体化のための補正予算を組むことを強く要請しました。

2010年度全国教研レポート(教育条件分科会)

泉北教職員組合

堀崎 光人さん

高石中学校保護者・卒業生を中心に請願署名(約2万3千筆)がたばされるも、08年12月議会での異例の補正予算が出され、一定の前進・変化が見られました。こうした状況を踏まえ、泉北教組として補正予算をふまえた「学校耐震100%達成

その結果、6月補正予算と今後の9年度学校耐震100%を達成する「たかいスタイル・ニューディール」計画が発表されました。これは国の支援策を最大限に活用

大教組・推薦・支持決定

4月24日投票

- 吹田市長選: 正森かつやさん
- 寝屋川市長選: 長野くに子さん
- 八尾市長選: 永井きみこさん
- 池田市長選: 柴田としあきさん
- 泉佐野市長選: 高道イチローさん
- 高槻市長選: はまだ剛史さん



耐震補強が完了した高石中学校

2力年で100%達成

その結果、6月補正予算と今後の9年度学校耐震100%を達成する「たかいスタイル・ニューディール」計画が発表されました。これは国の支援策を最大限に活用

大きな力を発揮した市民むけピラ